

2022 年秋学期語学留学/サラマンカ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

最初は基礎から始まりみんなが慣れてきた最後のほうは少しペースが速かったように思う。

4 クラスとも少人数制で、一方的ではなく先生と自分達が話をしているような感じのスタイル。文法の授業の午前中に2時間あり、だいたい1週間ごとにテーマ(現在形一点過去のように)が変わっていった。本当にどの先生も明るく、とにかく話をするのが好きなんだと感じた。日本でいると不思議な感じだが、クラスには16歳くらいの子から、6~70代の人たちもいて老若男女、異人種と一緒に学ぶのはとても素晴らしい事だと思う。あとは、遅刻や欠席に関しては結構緩めで先生が遅刻してくることも珍しくなかったが、そのラフさが個人的にはとても気に入った。

基本的などの授業も、先生の説明を聞いた後問題を解き、発表する形でした。進め方としては、説明の都度先生が理解したか確認を取って授業が進みました。

文法に関する授業ではテーマごとにまず概要を説明し、配布されるプリントを元に取り組んでいきました。宿題もほとんど毎日ありました。語彙の授業でもテーマごとにプリントが配布されていました。

文法の授業では、はじめにトピックの説明を聞きます。その後、練習問題を何回も解いていきます。そのように進めていって、テスト前には範囲のところを復習してくれます。また、テストと同じ形式のプリントが配られる(クラスによって異なる)のでテストの形式がイメージしやすかったです。中間と期末テストは筆記の授業もあれば、先生と一対一での会話やプレゼンテーションなど授業、先生によってさまざまです。

私は2年生の時にCIEのクラスを受けていたのですが、それとあまり変わらない思いました。まず初めに先生の話聞いて、その後に問題を解いたり、習ったフレーズを使って会話したりする形式が多かったです。

一限目 文法 二限目 コミュニケーション 三限目 選択科目 四限目 選択科目。文法のみ2時間のコマ1時間ずつ。5分休憩。

全ての授業で学生が積極的に発言が可能な形態。進め方は配布される資料や前回課された課題の学習。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

13人クラス私のクラスでは日本人が5人いて比較的多かったがほかのクラスは少ないと聞いている。

クラス人数の13~16人で、他の2~3の大学からの日本人留学生がいて、クラス授業によるが3~5人ほどいる。留学生の出身国比率はアメリカ、中国、台湾が圧倒的に多く、次いでヨーロッパのドイツやフランス、オランダ、スイス出身の人達が多かった。理由は分からないが韓国、イギリスはいなかった。

日本人4,中国人3,カナダ人1,アメリカ人1,タイ人1,トルコ人1,スウェーデン1。自分のクラスは少ないですが、全体的には、日本人、中国人、アメリカ人が多かったように感じました。

クラス人数は15名。日本人4名、中国人5名、アメリカ人3名、インド人1名、オーストラリア人2名。

クラスの人数は、一クラスおおよそ10~15人ほどです。中国、アメリカがクラスのほとんどを占めています。他には、台湾、ドイツ、カナダからの留学生がいました。

クラスは13~15人くらいでどの授業も日本人は私を含め3人程で中国人5人やアメリカ人4.5人という比率でした。しかし、最後の授業になると、中国人や台湾人の留学生はほとんどいなくて、代わりにオランダ人やドイツ人といった他のヨーロッパの国の人と授業を受けていました。

少数。10人程度。クラスによって異なるが、文法は日本人4人(関西外大の学生はいない)、2限は自分のみ、3限は4人(関西外大の学生なし)、4限2人(関西外大の学生なし)。50%の学生はアメリカから、25%は中国、台湾から、残りは日本、ドイツ、韓国など各国から

4つのクラスがあり、各授業で1桁人数のクラスから二十人程度のクラスがある。自分のクラスは日本人が1人と2人のクラスがあった。比率としては8:2~9:1の印象。中国人留学生が非常に多い印象。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本の授業よりも楽しく理解しやすい授業だった。

とても明るく、少人数制の授業というもあるが、特にヨーロッパの学生はとにかく発言をする。彼らからすると発言するというより先生と話すという感覚に近いと思う。どんどん間違っでどんどん覚える、話すという事に繋げていた部分は言語を学んでいくうえで、最も大切なものの一つだと実感した。日本の授業にはもっと適当な感じでいい。

分からないところがあれば気軽に発言しやすい、とても良い環境でした。

とても和気藹々としていて明るいクラスでした。

みんなが授業に積極的に参加していました。わからないことは、その場で挙手して先生に質問していました。先生の話を一方向的に聞いているだけではなく、自分の意見をはっきりと述べている人が多かったです。

基本的にみんな真面目だったが、先生の話してる途中で質問をしたり、先生が話を少し脱線したりと自由なことも多いと感じた。やはり、発言する回数が日本と違うと感じた点だった。

発言がとにかく重要視されていました。静かな時間がなかったです。質問すると授業の間やどの時間でも快く快諾して教えてくれます。テストでもわからない単語や問題の意味が分からなくてもとりあえず聞くと日本では絶対教えてもらえないと思う内容でも教えてくれたり、時にはヒントや解答の一部も教えてくれます。

積極的な発言が多く、和気藹々としていた。発言を求められる機会が日本の授業とは異なる点だと感じた。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

最後のプレゼンテーション

特別、このトピックが良かったと覚えているものはないけれど、文法や文学の内容に関連する歌や映画、動画を観せてくれて、普段、生活していても見ることがないだろうなというものを、観れた事。

自分の子供時代をプレゼンする授業が印象的でした。

スペインの映画を学ぶ授業が印象に残っています。自分が好んで見ないような映画のタイプなど様々なタイプの映画をたくさん見ました。そのうえで、スペイン映画の特徴や監督の特徴などを知ることができました。だから今までとは映画の見方が変わって、映画に対して多方面から考えることができるようになりました。

日本とスペインは長生きする人が多く、平均寿命が世界でもトップである。また、女性の出産率も高くない。プレゼンの際に日本の伝統工芸の後継者の問題を取り上げた。その話が発展してなぜ、日本では長生きしてる人が多いのかを先生と話し合ったこと。

4限に受講したアートの授業。スペイン語でアート用語やスペインの美術に関して学べてとても興味深かったです。

筆記表現の授業(四限目)では、最上位のクラスに所属していたため、CEFRのC1レベルの内容を取り扱った。内容のレベルが非常に高く、難しいと感じた点の一つ。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からないことは何でも質問するようにしていた。

前提として、宿題と、復習を毎日少しずつすること。それだけで1日前よりもリスニング力や話している内容の理解度がグッと上がったと思う。先生達が話している時は目を見て、言ったことを声に出さず復唱してみる。そうすることで、単語、文法力も伸びた。それから、先生達が毎日使うフレーズや単語を真似して自分で使ってみる。分からない単語はメモしておいて後から調べること。一番大事なのは受け身にならず、どんどん喋ろうとする姿勢を見せること。少し気を抜くと置いていかれて、どこの内容を話しているのか分からなくなるので、自分が参加しているとアピールしていた。

分からない単語は全てメモするように努めました。

とにかく発言すること。

全ての授業において、復習は必ず行っていました。特に映画の授業では、一本の映画をスペイン語または英語の字幕付きで鑑賞します。最後まで見終わったら、その次の授業で映画についての話し合いをします。だから、映画の内容をしっかりと理解していないと発言できないので、自宅で映画の中で理解できなかったシーンやフレーズを見直して、話し合いに参加できるように理解を深め、準備をして授業に臨んでいました。

できるだけわからないことがあればその場でわからないと答えるようにしていた。特に、文法の授業では、日本の授業で教えてもらっていない解き方などを学んでいた時は、授業内では理解できなかったため、授業終わりに先生に聞きに行っていました。先生方は熱心かつ丁寧に教えてくれるので次の授業が始まるにも関わらず、わかるまで教えてくれました。

予習、復習、宿題。予習は、次の授業でのテーマに関連した単語などを調べていました。このテーマに関して、こんな質問が出そうだなとか、このテーマでこのような意見を持っているからその時使う、使えそうな単語を調べていきました。

工夫としては、配布資料が多いので管理を怠らないこと。復習と課題を前日にしておくことで、余裕を持って翌日の授業に参加できる。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	オランダ	徒歩	15-30分
0人		徒歩	0-15分
1人	アメリカ人	徒歩	15-30分
1人	アメリカ人の男	徒歩	0-15分
1人	ホームステイ先に、台湾人の女性一人がいました。しかし、彼女は一か月間のみの滞在でした。その後は、一人でした。	徒歩	15-30分
1人	台湾人の女の子と住んでいました。しかし、10月いっぱい違うところに引っ越ししていたので、残りの期間は私1人で住んでいました。	徒歩	30-45分
1人	アメリカ人	徒歩	15-30分
2人	イタリア、フランス、他2カ国(不明)	徒歩	30-45分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
絵	水やティッシュなど
大きめのタンス(洋服用ハンガー)、机、椅子、ベッド(枕、布団)、棚	ティッシュ、筆記用具、生活用品・美容品(洗顔、髭剃り、シャンプー、リンス、ボディソープ、歯ブラシセット)、靴、服など
机、ベッド、クローゼット	机、ベッド、クローゼット以外
勉強机、タンス、クローゼット、ベッド、ベッドサイドテーブル	服、スリッパ、洗面用具
ベッド、机、いす、タンス、クローゼット、暖房、ハンガー	洗濯バサミ、ティッシュ、手洗い石鹸、シャンプー、リンス、ボディソープ
机、ベッド、ハンガー、ゴミ箱	ゴミ袋、洗濯ネット、下着や靴下などを干せる小さい洗濯バサミ、化粧水、スリッパ
ベッド、机、卓上ランプ、ハンガー等。そのほか、貸してもらえたもの:ドライヤー、薬、鍵、体重計など(必要になったときにまずは貸してもらるか)	薬、服、箱ティッシュ、文房具など

聞いてました。)	
ベッド、クローゼット、机、ソファ	

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

土足文化
屋内では素足ではなく土足かスリッパなので、お風呂上がりや寝る前後は特に、日本と比べて落ち着きにくかった。料理に米が出てこないのが最初のうちは、お腹いっぱいにならなかった。それと、特に昼ごはんは3段階に分けて料理を出してくれること。スペインの場合、日本よりも日が登り始めるのが遅いので、起床するのは苦労した。
シャワーは 23 時まで、5 分以内というルールに少し戸惑いました。
特に苦でなかったが、シャワーが使える時間帯(7:00-23:00)とシャワーは 1 日 1 回まで
一番に思うことは、家の中でも土足で過ごすことです。これは周知の事実であったので驚きよりも慣れるまでに時間がかかりました。また、朝ごはんをあまり食べない習慣には驚きました。小さいパンとヨーグルトを毎日食べていましたが、授業が 14 時に終わるので授業間に間食をとっていました。
水の使用量を特に気にする家庭だったのでシャワーは 5 分で済まさないといけないことには戸惑いました。また、私のホームステイ先では基本的におじいさんが料理や洗濯などの家事全般をしていたことに驚きました。日本では料理は女性で作ることが未だに多いので、その点においてはとても感心し、日本の男性もこの習慣を見習って欲しいと思いました。嫌だなと思った点はよく家族喧嘩を大声でされたことです。その後がとても気まづくるので、話しかけることができませんでした。
節水と節電の意識の違い
食事の量、時間。資源に対する意識。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

慣れる
とにかく、ステイ先の家族に、その日あった出来事やいった場所、あった人、思った事などについて自分から話そうとする姿勢を持つことが大事だと思う。拙いのは、ファミリーは最初からわかっているの、どんどん積極的に話すこと。そうすることで、自分の周りのことについては少しでも話せるようになってくると思う。残りの生活の部分は慣れる。
郷に入れば郷に従えという諺通りだと思いました。
期待しない
ホストファミリーとたくさん話すことだと思います。お互いに性格など何も知らない状態で出会い、一緒に暮らしていくので、まずは自分という人を知ってもらうのがいいと思います。
私のホームステイ先は夫婦喧嘩、家族喧嘩が絶えなかったの、私の場合は部屋にこもっているしかありませんでした。そのため、自由時間にホストファミリーと会話する時間が作れなかったの、できるだけ、食事の時間などで話しかけるようにしていました。もし、家が合わなかったら大学に図書館があるのでそこに行って勉強するのもありかと思う
節水と節電での注意意識は必要です。また、布団が寒かったりとしたときはまずホームステイ先に相談しましょう。
日本と同様で、互いに尊重し合う気持ちを持つこと。各家庭事情もあるので、どうしても合わない場合は現地の学校の講師に相談することも可能。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本の携帯をそのまま持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	はい

	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
	留学先で SIM カードを購入	LAN ケーブルで可能	いいえ
	留学先で SIM カードを購入	不明	

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学主催の旅行や行事に参加したり、サラマンカ大学の日本語授業のボランティアに参加しました。	休み時間はベランダで友達と話して過ごしていました。
大学主催で、スペイン国内とポルトガルに旅行する遠足プログラムがありました。また、クリスマスの時期には願い事を一人ずつ書いてツリーの下の箱に入れ、後日、それらを抽選会し選ばれた人はプレゼントをもらえるというイベントがありました。	トロ通りにお店が集まっていたので、そこはよく利用していました。スーパーや衣服店(ZARA、Bershkaなど)。友だちとの待ち合わせ場所としてマヨール広場によく行っていました。大聖堂の近くや、学校からは少し離れていますがソト島というところは、自然があってゆっくりするには最適の場所でした。
大学主催の旅行には一度参加しました。すごく楽しい思い出となったのですが、全てのものを手配してくれていました。そのため、私自身勉強不足でその場所に行ってしまった部分があるので、理解や関心を深めることがあまりできませんでした。事前にどういった歴史や文化があるのかということ調べておくべきだと感じました。	学校終わりは基本的に家で勉強していました。
町探検、買い物、シエスタ、週末は大学主催の旅行や私費旅行	El corte ingres という商業施設、Zara 等のスペイン発のショップ、カリフォルというスーパーマーケット
	図書館
	特にどのお店がというのは無いが、日本よりもカフェやバル、レストランがとてつもなく多いので、色々なお店に入って現地料理を満喫してください。それと公園や運動ができる場所が多いので友達と球技や散歩するのはおすすめ。特に秋の 18 時頃はおすすめ。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
体調管理
荷物の用意、お土産の購入、簡単な単語や文法の確認、文章を声に出して読んだり、ポッドキャストを空き時間に聞いていた。自己紹介はある程度できるようにしていた。
今までに授業内で学んだ文法や会話などを見直しました。また、リスニング力をあげることも兼ねてスペインの雰囲気を YouTube で見ていました。
1年から習った文法の復習はしていました。また、ポッドキャストでスペイン語を聞いていました。早いスピードで話していたのでほとんど聞き取ることはできませんでしたが、少しでも多く単語を聞き取るようにしていました。
DELE B2 レベルの内容を自習。

留学前にしておけばよかったと思う準備

日本の快適な生活が染み込んだままだと海外に出たときに慣れるまでに時間がかかるので、少し生活の質を落としていくべき。勉強面ではもっと単語力とリスニング力をあげるためにもっと力を入れるべきだった。

単語を覚えること

リスニング力を上げるためにスペイン語を聞いていましたが、まだまだ足りなかったなとスペインに行き感じました。また、他の国の人たちは、自国についてよく知っているのに対して、日本人は問われても答えられないことがあったのもっと自国について興味を持って調べておくべきだったと思います。

文法なども大事だが、スペイン語で話す、考えるということを日本でももう少しやっておけばよかったと思う

文法書の見直し

DELE B2 の受験。現地でも受けることができ、流れがわかった上で現地受験することでより落ち着いて試験に挑むことができると感じた。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

シャンプー

日本らしいお土産(特に抹茶とドラゴンボールはスペインでは超有名・人気)

シークレットポーチ、延長コード

日本の物を持ってくればよかったと後悔しています。アニメや漫画などのグッズやカードなど。

熱さまシートやいつも飲んでる薬。急に熱が出たときに、買い物に出られないので、持っていてよかったと思いました。薬だと効き目が強かったり、合わないなどの問題があるので飲み慣れたものを持っていくことを勧めます。洗濯ネットも持って行ってよかったと思います。日本製のものは壊れなくて丈夫なので安心して使うことができました。

授業でプリントが大量に配られるので、ファイルは数枚持って行ってよかったと思います。また、ごみ袋も 15 枚ほど持って行ったのですが、とても役に立ちました。

マスク、流せるティッシュ、泡立てネット(洗顔、全身用)、文法書、手袋やマフラー

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
生活品はほとんど買えるのでほぼ必要ない。ただ美容品やシャンプー、リンスなどが日本製の方がいい場合は別。	無し
特にありませんでした。	ヘアドライヤー
ノートや教材	スリッパ
ノートは初日に配られるので、ノート、ルーズリーフなどは必要なかったと思います。	ドライヤー。二か月半なので新しく現地で買うまでもないけれど、毎日自然乾燥だと少し大変だと感じました。荷物になるので、新しいのではなく、帰りには捨てて帰れるような少し古いものを持ってきていけばよかったなと思いました。
多めにインスタントのスープや麺を持っていたのですが、家にポットがなかったのと、家のご飯の量が多く、あまりおなかがすかなかったので食べる機会がなく、ほとんど消費しきれずに持って帰ることとなりました。	ポケットティッシュ(多め)
箱ティッシュ、ノート(学校で支給されるのと教材もプリントです)、日本食	手袋とマフラー、文法書

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
クレジットカード	50万
10万円分は出国前の日本の空港で換金した。現地でも、手数料は要るけどどの atm から引き出せるのと、クレジットカード(特に visa)は便利。	50万ほど
基本的にはクレジットカードで払いました。現金は10万円分持って行きました。	クレジット30万、現金10万
現金とクレジットカード3枚	現金6万。クレジットカード上限30万
5万円ほどは、現金で持っていきました。現金は、日本でネットで頼んで配達してもらえるシステムを利用しました。あとは、クレジットカードを二枚持っていきました。	現金は5万円。クレジットカードは20万ずつ用意しました。
基本はクレジットカードで使うつもりだったのでクレジットカードを2枚持っていき、使い分けて利用しました。海外ではキャッシュレス化が進んでいると留学前から知っていたので現金は6万円ほど両替したものを持っていきました。	現金6万円、クレジットカードの上限は1つは30万円、もう1つは上限なしで使えました。クレジットの合計は約55万円ほどでした。
クレジットカード2枚、携帯に取り込めるクレジットカード(ex: Apple pay)、現金5万円(コインランドリー使用時や交通機関乗車時に使う)	現金は5万円、カード上限は30万(余裕で達してしまったのでもう少し上をお勧めします)
キャッシュレス化が進んでいるため、2社の異なるクレジットカードを準備。現金はランドリーに必要なため、逆算して外貨両替を行なった。	20万円程度。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

食費は10~13万ほど
基本的にはホストマザーの料理を食べていた為、解りかねます。外食すると一食1500~2000円ぐらいでした。
食費合計約4万
洗濯は、一回4€のコインランドリーを利用していました。乾燥機はプラス2€。私は、友達と一緒に利用していたので、毎週2€を支払っていました。ホームステイ先で洗濯してもらうことも可能ですが、コインランドリーの方が断然安いです。食費は、外食する以外は支払っていません。
特になし。食費は基本は家で食べていたので現地で支払うことは少なかったです。
旅行時や遊ぶ時の食費と洗濯代
20万円程度。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

どちらも無し
徒歩なのでかかっていません。
特になし
テキスト代として、現地で支払ったことはありません。通学費も徒歩で通学だったので必要ありませんでした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

旅行に15万ほど。買い物や土産も同じくらい。

交通費、ホテル、食費、お土産で約 40 万かかりました。SIM 月 20 ユーロ。
旅行約 20 万。買い物約 2 万
約三か月間で、旅行に行くための交通費でおよそ 10 万円使いました。友達との外食や旅行に行った際などの外食費でおよそ 4 万円でした。衣服や化粧品などで、およそ 2 万円。
毎週のように旅行に行っていたので 30 万以上はかかりました。
50万ぐらい(贅沢な遊びや大量のお土産に消えました。)
20万円程度。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
たくさんのお学生と話すことができた。
結論から言うと全然違うレベルになったと思う。特に、聞くに関しては、ゆっくり話してくれていると言っても 5 時間は最低でも授業で聞いているので、全く違うし、普通に生活しているだけで、買い物やファミリーと話しているだけでも、日常生活でとても使えるネイティブの単語やフレーズを知れるので、そういう意味でも日本で勉強するのは全く違うと思う。
語学力自体はそこまで大きく変化していないと思います。
来た当初よりは格段に話せるようになった。
スペインに到着してすぐの時は、うなずくことしかできないし、相手が言っていることもほとんど理解できないような状態でした。1カ月経ったころ、ようやく耳がスペイン語に慣れてきて聞き取れるようになりました。徐々にクラスメイトともホストマザーとも自分から会話を持ち掛け、会話できる量が増えていったことがうれしかったです。
確実にリスニング力は向上したと感じる。また、この期間は英語よりもスペイン語に触れる機会が圧倒的に多かったため、単語や文章も最初に浮かぶのがスペイン語になった。最初は一人でレストランやバルに入って注文することなどできなかったが、1か月以上たてば、一人で買い物やレストランに行くことができた。その際に、スムーズに会話を済ませることができるようになった。
外国語でコミュニケーションを取ることの難しさを知ることができた。語学力は極端に向上することはないと思うが、帰国後の学習に繋げることができれば向上するのではと思う。

留学前の目標とその達成度
この経験を生かす
DELE で言うと b1レベルで会話面では自身についての事や日本の事ある程度説明できること。達成できたと思う。
全力で友達を作り、現地の生きたスペイン語を学ぶこと
目標は今度の DELE なので、それを達成できるように頑張りたい。
クラスメイトに自分から話かけにいこうが目標でした。その目標は達成できたと思いますが、特定の人に絞られてしまったので、もっと多くの人とコミュニケーションをとることでよりスペイン語を使うことができたかなと思います。文法を間違っているかもしれないと思い自分の伝えたいことを伝えられなかった時があったので惜しいことをしてしまったと思います。日本でスペイン語を話せる機会があれば失敗を恐れずに話したいと思います。
留学前の目標は、授業内での発言をできるだけ多くして、スペイン語を話す機会を少しでも増やせるようにしたいと思っていた。conversación という授業では私が受けた授業の中で 1 番発言の機会が与えられたと思う。当たられることももちろんあるが、最初に先生が説明したことを例文にして使って、思いついた人から発言していくことが多かった。私はこの際にできるだけ、多く、早く発言することを常に心がけていた。以上のことから、目標は達成できたと思う。
DELE B2を受験予定。合格が目標のため、達成に向けて今後も学習を継続。

留学を通しての成長ポイント

様々な国の文化を知ることができた

全く異なった文化や習慣、伝統、感覚に対して柔軟にある意味、適当に適応していく能力。生活は人間に最も根付いたものなのでそれが変わるの最初は苦労したけど、スペイン人的な考え方ができるようになったのか、途中からは以前よりも細かいことは気にしないようになった。

新しい環境における適応能力に自信ができました。

経験

行動力が身についたと思います。なぜなら、短期間ということもあり少しでもたくさんの経験を積みたいと思い、考えるよりもまず行動に移っていたからです。また、物事を多方面から考える力が身についたと思います。これは、たくさんの美術館、博物館を巡って身についた力です。絵から感じるもの学ぶことはたくさんありました。

何事にも恐れずに行動する力。まだ、スペイン語を上手く話せるわけでも1回で理解することもできなかったが、バスのチケットやレストランなどで人と話さなければならない時に、初めは単語や短い文で伝えていた。拙いスペイン語でも相手が意味を汲み取ってくれたり、ゆっくり説明してくれたりしたので、失敗や離せないということを恐れずに挑戦する力が身に付いた。

多国籍の学生がいたため、考え方に対する知見を得ることができると思う。考えを理解することが難しい場合もあったが、より大いに受け止めることができるようになったと思う。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

かなり上達した

元から英語かスペイン語どちらかに全振りするのではなく、どちらも学習し続けたかったのもあり、これからはスペイン語は現状維持か少しずつ上げていけたらと思うし、英語に関してはいい感じに成長できているので、ネイティブレベルにより近づけるように、毎日継続して楽しむことを忘れず頑張りたい。

留学前、自分の準備不足を後悔し、3ヶ月過ごす自信がありませんでした。留学前半は友達作りに励み、後半からとても楽しくなりました。留学後現在は DELE に向け勉強したいと思っています。

常に最高

日本にいたときは、スペイン語を使う機会があまりなかったのでただ学んでいる言語というので止まっていました。しかし、実際に現地で公用語として使うようになって、その言語しか聞こえない地において自分が発する言葉が通じるととても楽しくうれしい気持ちになりました。反対に、通じなかったり、どの言葉を使うのか分からないときは悔しくてもっと勉強したいという気持ちが芽生えました。留学後の現在、留学中に培ったスペイン語力を失いたくないし、スペイン語力をさらにアップしたいと思っています。

留学前と留学中の最初の1ヶ月ほどは、文法や単語などを覚えていくという勉強をしていた。しかし、留学中では、学校がない日は毎週国内を中心に旅行していたので、スペイン語を「話す、聞く」ことの方が多かった。また、チケットを買うときも機械ではなく、できるだけ対人のところで買って、話す機会を増やした。旅行に行くと、新しい単語やフレーズなども覚えられるのでとてもいい経験となった。留学に慣れて行くにつれて、1人で家で勉強というよりも外に出て会話をしようという変化が出てきたと思う。

留学中は挫折するようなこともあった。今後社会で使用したいと考えるので学習を継続したいと考える。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

テスト勉強

FIFA ワールドカップのスペイン対日本戦の応援。全力を出し切りました。

日々新しい事に挑戦する度に 100%の勇気を振り絞っていました。

日本でも一人旅にはいったことがなかったので、初めての国で一人で行動することにはすごく恐怖心と抵抗がありました。しかし、スペインに滞在する

期間も短かったので勇気を振り絞って一人旅に行ったことが力を振り絞った瞬間です。旅に行って帰ってきた日には達成感を感じることができ、さらにその行動をした分、経験も積めたので成長も感じることができました。

学校主催の遠足に参加し、ホテルに着いたとき、パスポートが必要だということを初めて知った。引率の先生に相談したら、ホストファミリーに電話して写真のコピー送ってもらうことはできないかと言われた。初めは、今のスペイン語力で何も見ずに調べたりせず話す自信がないと正直思った。しかし、電話が繋がると、言いたいことをしっかりと伝えることができた。それ以降、スペイン語に少し自信が付いた。

各自のテーマを用いた発表。聞き手がわかるように話す、表現する、を意識した。

留学先大学の良かった点

歴史があり先生もとても良かった

とにかく全ての授業の先生が明るく、元気で、学生の名前を覚えるのも一瞬で、ほぼ友達だった。準備が難しい旅行を用意してくれたのは素晴らしいかつ、添乗の先生もフレンドリーで親しみやすく話しやすかった。

留学先大学で良かった点は、学校主体の旅行などがいくつかあった事です。

校舎も綺麗で、先生も優しく、授業も面白かったです。街並みもとても綺麗で好きです。

先生がみんなとても親切で、優しかったです。わからないことがあればわかるまで熱心に説明してくださいました。また、スペインの文化、サラマンカの行事のこと行事では何をするのか、他の国と異なることなど、たくさん話をしてくださいました。

建物、設備が最新できれい。無料で SIELE を受験できるのはとても良い。

校舎が設立されて年度がそれほど経っていないため、設備が綺麗であった。資格試験を受けるにあたって、現地の講師たちから助言を得ることができた。